

広報 しばた 4

2013 APRIL
No. 618 since1961

先人から受け継がれし「桜」が
今年も街中を「桜色」に染める。

しばた桜まつり

船岡城址公園・白石川堤 ほか

4月10日(水)~25日(木)

(平成 24 年 4 月 24 日撮影 白石川堤右岸)

笑顔咲く伊達な旅

平成 25 年柴田町議会第 1 回定例会が、2 月 18 日から 28 日にかけて開られ、滝口茂町長は平成 25 年度の施政方針を述べました。

町政運営の基本となる町政の羅針盤「施政方針」を抜粋してお伝えします。

特集 平成 25 年度 施政方針

みんなの力で地域ブランドを育て、 ワンランク上の先進自治体を目指す。

安倍新政権は、日本経済再生に向けた緊急経済対策の中で、これまでの財政再建をベースとした「縮小均衡の分配政策」から「成長と富の創出の好循環」へと大きく政策を転換する決断をしました。また、待ったなしでの TPP への参加問題や再生可能エネルギー社会への転換、社会保障と税の一体改革による負担と給付のあり方についての政策の選択と政治の決断が求められています。

国内外での社会経済状況が大きく変化する中、柴田町も真の豊かさを手に入れることができる持続可能な社会の実現を目指して、誤りのない政策の選択が求められています。

東日本大震災の後、幸いな柴田町の人口が増え、新たな企業が立地し、財政も少し好転したこともあって、町に勢いが生まれています。しかし、中長期的に見れば手放しで安心できる状況にはありません。

これまで高齢者 1 人を現役世代 4 人が支えていました。2050 年には、高齢者 1 人を 1 人の現役世代が支える肩車型社会が到来するからです。町にとって人口が減れば税収が減ってきます。一方、高齢者が増えれば福祉に係る負担が増えます。この二重の苦しみを少しでも改善するためには、経済の成長発展を図り、配分するパイを大きくしていくしか選択すべき道はありません。

将来を見据えた魅力的なまちの創造のために、大震災から得た教訓を政策に反映させていきます。

教訓の一つは、災害時の対応として、絆の重要性を再認識させられたことです。人と人とのつながりを大切にしたコミュニティを形成していく中で、どんな防御体制より安全安心なまちをつくっていきます。

二つ目は、東北の地に暮らす人たちは、自然の猛威と恐怖の思いを抱きながらも、自然との共生の中で生きることを望んでいることです。美しい農村風景、自然がもたらす恵みや再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進めていきます。

三つ目は、安心して働ける場所がなければ、住み慣れたまちでの生活再建は困難になるといことです。新たな雇用やビジネスチャンスを生み出すために、農業の再構築を図るとともに、地域資源を活用した 6 次産業の振興や農工商連携による観光まちづくりを進め、経済的な豊かさを追い求めた成長戦略を展開していきます。

町が町民とともに時代の閉塞感を打破し、明るい未来を切り拓いていくためには、全国から一置かれる先進自治体に脱皮していくことが必要です。

そのためには、地域の自

然や歴史、文化を学び、それをまちづくりに生かす政策力の強化を図っていかねければなりません。

「良いまちをつくりたい」という一人一人の思いこそが、魅力的なまちを創り出す原動力となります。

自分たちのまちは自分たちで創るといふ気概を持った仲間が集まり、知恵と創意工夫を重ねていく中で、化学反応が起こり、新たな推進エンジンとして起動してこそ、魅力あるまちづくりが可能となるのです。

柴田町の魅力を際立たせ、国内外に向けて明確に情報発信していくことが求められています。

今年度は、従来にも増して情報の提供と町民の声の反映に努めながら、町民一人一人の力を結集し、将来を見据えた想像力をたくましくして「花のまち柴田」の名声を高め、ワンランク上の先進自治体をつくっていききたいと思っています。

主な施策の概要

美しい都市空間の整備

① 快適な生活空間の整備

社会資本総合整備事業により、町道富沢16号線の整備促進を図ります。また、町道船岡東43号線の歩道整備や町道槻木72号線の舗装工事に着手し、生活道路の改修に取り組みます。

水道事業では、老朽管対策整備を船岡の西住町、若葉町および並松、入間田坂中、西船迫の各地区などで実施し、管理運営に万全を期していきます。

下水道事業は、船岡大住町、船岡新栄、上名生新大原地区などで整備し、老朽管の更新に伴う計画策定は、下水道長寿命化支援制度を

活用して実施します。
② 歩きたくなる街並みの形成

「花のまち柴田」のシンボルとなる（仮称）さくら連絡橋は、下部工の橋台や橋脚の整備工事、上部工の桁製作に着手します。また、白石川堤外地環境整備は、園路や広場などの整備工事に着手し、（仮称）さくら連絡橋と相乗効果を図ります。地域が待ち望む公園として、船岡新栄5号公園整備工事と船岡城址公園、船岡駅前緑地の遊具を更新しま

す。さらに、桜の老木の保護に努めながら、将来に向け「しばたの桜100年計画」の策定に着手します。

③ 環境保全の推進

容器包装プラスチック類の分別収集や家庭ごみ有料化により、ごみの減量化と資源リサイクルの推進を図ります。

空き家、空き地の現状把握のため、現地調査・分析を行い、適正管理の指導強化に努めます。

放射能対策は、空間放射線量の測定や学校給食、保

育所などの食材や一般町民が持ち込む食品、焼却灰の放射能測定を実施し、不安の払しょくに努めます。

④ 農村空間の保全と里山景観の再生

農地・水保全管理支援交付金事業に取り組む12地区に職員を配置し、集落機能の回復と農業農村の持続発展、活性化を推進します。

健康志向の高まりから、柴田町のウォーキングのメッカとするために、里山ハイキングコースの案内板や道標を整備するとともに、農家レストランや産地直売所と連携し、農村と都市の交流によるエコ・ツーリズムを推進します。

⑤ 新交通システムの推進

デマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」は、高齢者などの日常生活における足として利用され大変好評です。今後、さらに利用者の要望などを踏まえて、より利用しやすい運行体制に努めます。



教育・文化・ 交流都市の創造

①学び合う教育環境の充実
地域と共に創る学校、づくりを推進します。全校で外部評価を行い、運営改善を図るとともに、地域住民、保護者が学校運営に参画する学校運営協議会の推進も図ります。

東日本大震災を踏まえ、各学校の防災計画・避難所運営マニュアルの策定や避難訓練などを担う教諭を配置し、防災教育の体制づくりに努めます。また、学習指導を行う学びの支援員を配置し、児童生徒の学力、学習意欲の向上を図ります。
いじめ・不登校などへの対応は、自立支援相談員を配置し、問題を抱える児童生徒を支援するとともに、いじめの未然防止に努めます。

学校給食センターは、3町共同学校給食センター整備可能性調査の結果を説明

し、議会や保護者などの意見を伺い進めます。

②青少年の健全育成
青少年の活動の場としての環境整備や子ども会などの活動、育成に努めます。3年目を迎える「子どもフェスティバル」の充実を図り、楽しい遊びやふれあいを通じて、創造性豊かな児童の育成に努めます。

③生涯学習・スポーツ・文化活動の推進
子どもから大人まで、スポーツ・レクリエーション活動や文化活動にかかわれるよう体育協会や文化協会と連携して、楽しく学ぶ交流拠点としての生涯学習センターの支援機能を強化し、スポーツ文化創造都市としての魅力の向上に努めます。

安心ネット・ 地域防災の整備

①健康づくりの推進

権限移譲による「未熟児養育医療給付事業」を4月から実施します。また、町

民の健康づくり事業への参加促進を図るため、(仮称)しばた健康づくりポイント事業を平成26年度の事業実施に向け準備を進めます。

②地域医療・救急体制の整備
みやぎ県南中核病院では、整備中の腫瘍センターのうち、外来化学療法室を4月に、8月には放射線治療室、平成26年4月には緩和ケア病棟を運用開始する予定で、救命救急センターは今秋に運用開始予定です。

③誰もが安心して暮らせる福祉の推進
孤立死の防止に向け、見守りのネットワークを構築していきます。また、災害見舞金制度を創設し、小規模災害に対応した支援を行います。障害のある方への支援は、地域で安心して生活できるように、基幹相談支援センターを設置し、相談支援や虐待防止の強化を図ります。

がいくくりとして、介護ボランティアポイント制度の実施に向けた準備や地域密着型サービスの整備を進めます。

④子育て・子育て支援の実
子ども医療費助成について、10月から通院に係る助成の対象を中学3年生まで拡大し、医療費の軽減を図ります。また、子育て支援の拠点施設として、児童館と子育て支援センターを合築する(仮称)船迫こどもセンターの実施設計を行います。さらに、平成26年4月に私立幼稚園運営に移行する柴田児童館は、大規模改修を行い、開園に向け環境整備に取り組みます。

⑤地域防災力の向上
防災対策では、共助の要である自主防災組織の育成と活動の充実、促進を図るとともに、防災物資の補充を行います。

水害対策は、西住地区などの冠水を解消するために、



鷺沼排水路の整備に着手します。

また、槻木地区では、四日市場排水機場への排水誘導を行い、冠水被害の軽減を図ります。局地的な冠水対策として、船岡西2丁目、船岡南1丁目、西船迫1丁目、4丁目、槻木生涯学習センター付近などの改修に取り組みます。

さらに、不二トッコ工場跡地に整備する、防災拠点施設（総合体育館）の基本計画を策定します。

⑥ 交通安全・防犯対策の推進

警察や交通指導隊などと連携し、事故防止に向けた街頭指導や交通安全施設整備など、各種交通安全対策を行います。

防犯対策では、既存防犯灯のLED化を促進するとともに、警察や防犯実動隊などとの連携を強化し、振り込め詐欺防止、自転車盗難防止などの街頭指導を行います。

⑦ 公共施設の整備

二本杉町営住宅建替事業を継続し、北船岡町営住宅3号棟予定地の既設町営住宅の解体を行うほか、西船迫町営住宅の外装改修を行います。

地域循環型経済の推進

① 観光まちづくりの推進

船岡城址公園や太陽の村の桜、里山ハイキングコースなどの地域の魅力をさらに引き出し、観光地としての知名度を高めます。

商店会や住民が一緒になり、おもてなしの心の育成を図っていきます。また、「花のまち柴田」のセールスのため、イメージキャラクターを活用し、積極的なプロモーションに努め、交流人口の増加を目指します。

② 農商工連携によるものづくり

地域経済が持続的に発展していくために、農商工連携による地元産の農作物を有効に活用した新たな地場

製品の開発から販路開拓までの6次産業化に取り組めます。今後、柚子関係の企業・団体と協力し、特産品の確立に取り組めます。

③ 地域産業の活性化

米の需給調整制度は、地域間調整、備蓄米、加工用米を活用し、不作付地の解消に努めます。また、集落ぐるみで進める「人・農地プラン」に、引き続き取り組み、農業関係機関と連携し、農地集積を推進するとともに、経営改善の促進と安定した農業経営を図ります。さらに、米放射性セシウム吸収抑制事業を行い、放射能検査の強化をし、安心な食糧の供給に努めます。

今後の農業振興を図るための基盤整備は、「ほ場整備事業基本計画」を作成し、実施可能な地域から基盤整備を推進します。

花卉振興は、フラワーラップ、ロゴマーク作成費の支援や新たな販売ツール

構築を推進します。

また、地元農産物の消費拡大のため、ビニールハウス施設補助により、安定的な野菜栽培を図ります。

商業の振興は、商店会が実施する事業や産業フェスティバルなどの支援を行うとともに、「おもてなし協力店」の発掘を進め、観光客が商店に立ち寄るような仕組みづくりを進めます。

また、商店街の活性化に向け、空き店舗を活用した起業家事業を実施します。

工業の振興では、「柴田町企業立地優遇制度」や東日本大震災復興特別区域法に基づく「民間投資促進特区制度」を活用した企業誘致活動を進めます。

住民参加と

自治活動の実践

① 参加と協働、地域コミュニティ活動の推進

地域コミュニティの活性化を図るため、地域計画の策定を進めていきます。計

画の実現のために「地域づくり補助金制度」を創設して、多様な活動を支援し、地域で支え合える関係を築いていきたいと考えています。また、住民投票条例など、住民の意見や提案などが反映される環境づくりを目指します。さらに、まちづくり推進センターに専任集落支援員を配置し、地域づくりの拠点として支援します。

② 男女共同参画社会と人権啓発の推進

男女共同参画は、柴田町男女共同参画推進審議会の意見や視点を広く町政に生かし、男女で築く活力あるまちづくりを推進します。

人権啓発は、関係機関と連携し、人権尊重社会の早期実現に向け、人権教育・啓発を総合的かつ計画的に推進します。

※施政方針の全文は町ホームページへ掲載しています。

平成 25 年度 予算の概要

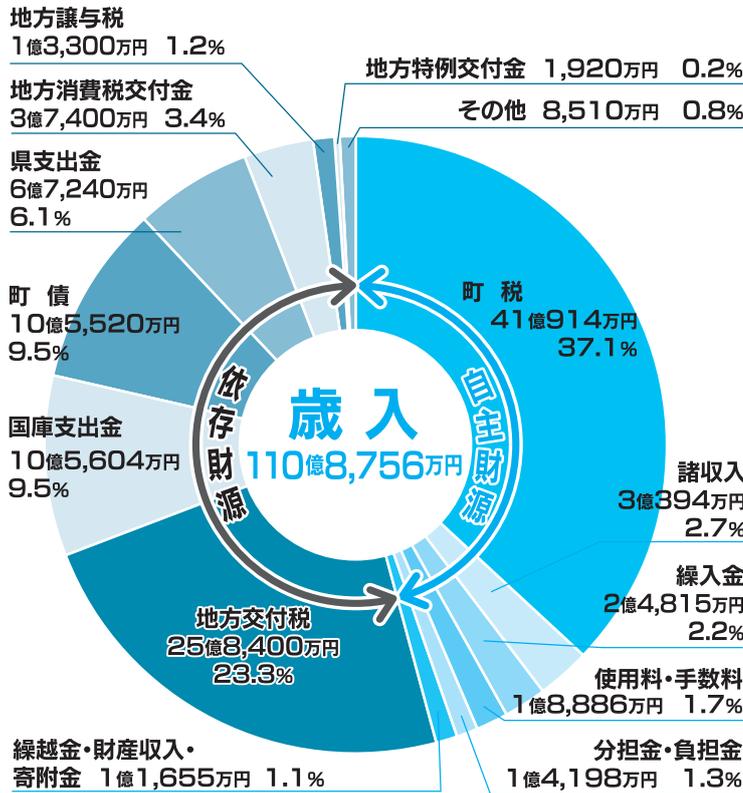
予算総額 208 億 9,473 万円に決まる。

平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までの 1 年間、町が何にどれだけお金を使うかを定めた「平成 25 年度当初予算」が 2 月の議会で成立しました。

今年の一般会計予算は、槻木中学校校舎改築事業などの大型事業が完了したこともあり、平成 24 年度と比べ 9.8%を減額し、町のさらなる発展と町民の暮らしを向上させる予算編成を行いました。

経済の成長発達と
真に豊かさを実感できる
生活の両立を目指す
スタートの時――

一般会計 歳入



平成 25 年度予算の内訳

会計区分	平成 25 年度	平成 24 年度	対前年比
予算総額	208 億 9,473 万円	214 億 2,365 万円	△ 2.5%
一般会計	110 億 8,756 万円	122 億 9,528 万円	△ 9.8%
特別会計	84 億 6,048 万円	77 億 7,369 万円	8.8%
国民健康保険 事業特別会計	40 億 6,146 万円	39 億 204 万円	4.1%
公共下水道事業 特別会計	16 億 6,410 万円	13 億 4,173 万円	24.0%
介護保険 特別会計	23 億 8,099 万円	21 億 9,414 万円	8.5%
後期高齢者医療 特別会計	3 億 4,437 万円	3 億 3,578 万円	2.6%
土地取得	956 万円	—	皆増
水道事業会計	13 億 4,669 万円	13 億 5,468 万円	△ 0.6%

一般会計 歳入の状況

町の歳入は、町が自ら確保することができる町税や使用料・手数料などの「自主財源」と、国や県より定められた額を交付や割り当てられる「依存財源」に区分されます。

主なものとして、自主財源で最も多いのは、皆さんから納めていただく町民税や固定資産税、法人町民税などの町税で全体の 37.1%を占め、41億914万円と前年度より2161万円減額となりました。町税の中でも、固定資産税の税収が落ち込み、前年度と比べ6507万円(3.5%)の減額となります。

一方、依存財源で最も多いのは、町の財源力に依じて国から交付される地方交付税で、全体の 23.3%を占め、25億8400万円と、前年度より3000万円の減額となっています。

町民一人あたりに使われるお金(一般会計) 286,337円 <small>※平成25年3月1日現在の人口38,722人で試算</small>		
民生費 80,128円	土木費 44,024円	
総務費 36,083円	衛生費 32,247円	教育費 28,259円
消防費 10,264円	商工費 8,222円	農林水産業費 7,111円
議会費 4,203円	その他 1,346円	公債費 34,450円

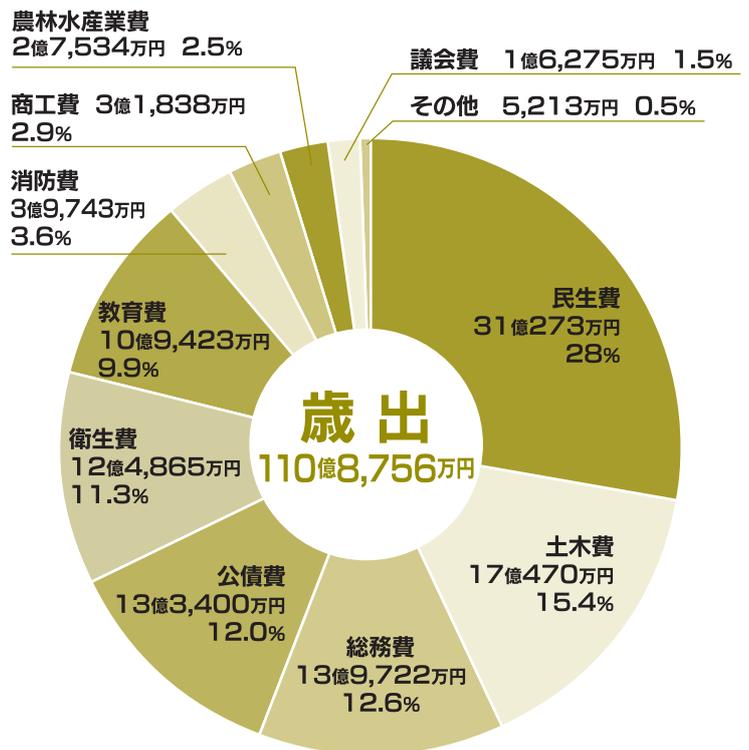
一般会計の推移

年度別	一般会計
平成21年度	98億9,111万円
平成22年度	106億4,560万円
平成23年度	118億7,918万円
平成24年度	122億9,528万円
平成25年度	110億8,756万円

一般会計 歳出

歳出を性質別に分類すると…

区分	平成25年度	対前年比
人件費	24億6,797万円	△0.1%
物件費	17億517万円	△11.8%
維持補修費	4,179万円	38.0%
扶助費	13億8,959万円	8.8%
補助費等	16億2,199万円	5.3%
投資的経費	9億2,234万円	△53.4%
公債費	13億3,400万円	△12.2%
積立金	56万円	0.0%
貸付金	6,950万円	△14.7%
繰出金	15億465万円	3.8%
予備金	3,000万円	100.0%
合計	110億8,756万円	△9.8%



一般会計 歳出の状況

町の歳出で最も多いのは、高齢者や障害のある方などへの福祉や子育て支援、医療に使われる民生費で、31億273万円と全体の28・0%を占めています。前年度と比べ1億7774万円(6・1%)の増額となります。

次は、土木費の17億470万円(15・4%)を占めます。これは、社会資本総合整備事業により、町道富沢16号線の用地取得を行い、整備促進を図ります。また、船岡・槻木地区の舗装や側溝劣化が著しい生活道路の改修費などを計上しています。行政全般の事務経費である総務費は、12・6%を占め、地域コミュニティの充実・強化を図るため、自治会や町内会に対し新たに地域づくり補助金制度を創設するなど、13億9722万円を計上しました。

3 町共同学校給食センター建設可能性調査報告

安全・安心への新しい取り組み

その 2

3 月号では、調査検討内容の概要をお知らせいたしました。今月号は、柴田町が単独で建設した場合と3町共同で建設した場合を、現状と比較して「Q & A方式」でお知らせいたします。

今後は、議会や保護者への説明と意見交換を行い、小中学校の保護者の皆さんに意向調査を実施する予定です。

建設の是非については、意向調査結果を基に議会で審議されます。



楽しい給食の時間（船岡小学校）

問 Question 1

どのような給食センターの建設を計画しているのですか？

答 Answer 1

		現 状	柴田町単独建設の場合	3 町共同建設の場合
所在地 (建設候補地)		西船迫 1 丁目 1-12	未 定	村田町沼辺地区周辺
敷地面積		4,479.47㎡	約 4,500㎡ 程度	約 9,000㎡ 程度
建 物	面 積	1,372.05㎡	2,232.17㎡	4,218㎡
	建 設 費	約 4 億 6,000 万円	約 12 億 2,400 万円	約 23 億 2,700 万円
	構 造	鉄筋コンクリート造平屋建て ※一部 2 階建て	鉄骨造 2 階建て	
	供用開始	昭和 56 年 4 月 13 日 (増築：昭和 62 年度)	平成 31 年度以降	平成 28 年度または 平成 29 年度
調理場方式		共同調理場		
調理システム		ウエット方式※ ¹	ドライ方式※ ²	
給食日数		小学校 180 日 中学校 175 日	小学校 180 日 中学校 180 日	
実提供数 (1 日)		1 日 3,800 食	1 日 3,500 食	1 日 7,000 食
単 価 (1 食あたり)		小学校 265 円 中学校 315 円	小学校 265 円 中学校 315 円	
配送車両		3 台 (町所有 2.5t)	3 台 (町所有 3t)	7 台 (町所有 3t)
配送・回収時間		配送時間 11:10 頃～ 回収時間 13:10 頃～	建設地により配送・回収時間の調整が生じる	
職 員 数		32 人 (町 3 人、県 2 人、委託 27 人)	45 人 (町 3 人、県 2 名、委託 40 人)	56 人 (町 7 人、県 3 人、委託 46 人)
そ の 他		柴田町学校給食センターは、建築から 31 年が経過し、建物や機器などが老朽化しています。平成 22 年度は 1,800 万円、平成 23 年度には 850 万円の修繕を行い対応してきましたが、早期の施設建設が必要です。		

※ 1 ウエット方式とは…水を撒き、汚れを洗い流す方法で、常に床は濡れている状態で作業を行う方式。

※ 2 ドライ方式とは…床がいつも乾いた状態で調理や洗浄作業を行う方式。今後、建設する給食センターは、「学校給食衛生管理基準」によりドライ方式が求められています。

問 Question 2

子どもたちの食生活への取り組みについて教えてください。

答 Answer 2

	現 状	柴田町単独建設の場合	3 町共同建設の場合												
食育教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間で全クラス 1 回 45 分の授業を実施しています。 ● 毎月給食日より発行し、地元産を PR しています。 ● 町の特色に特化した献立を提供しています。 	現状の食育教育のほか、新しい施設を見学し、調理員との交流が図られます。	現状の食育教育のほか、新しい施設では、他町学校との交流が図られます。また、栄養職員による食育教育の授業が拡大されます。												
残食率の削減	<p>野菜や魚を使った料理や和食の献立は残量増加の傾向にあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワースト 1</td> <td>さんまの塩焼き 33%</td> <td>切干大根サラダ 40%</td> </tr> <tr> <td>ワースト 2</td> <td>切干大根サラダ 30%</td> <td>さんまの塩焼き 33%</td> </tr> <tr> <td>ワースト 3</td> <td>筑前煮 28%</td> <td>秋野菜の和え物 28%</td> </tr> </tbody> </table> <p>調査期間：平成 24 年 11 月 5 日～ 16 日 対象者：小学校 3 年生以上</p>		小学校	中学校	ワースト 1	さんまの塩焼き 33%	切干大根サラダ 40%	ワースト 2	切干大根サラダ 30%	さんまの塩焼き 33%	ワースト 3	筑前煮 28%	秋野菜の和え物 28%	機器の種類が増えて、メニューに工夫ができます。	機器の種類が増え、メニューの工夫ができるほか、栄養職員を集約することで、食べ物に対する感謝の気持ちや苦手なものも一口は食べるなどの実践活動ができます。
	小学校	中学校													
ワースト 1	さんまの塩焼き 33%	切干大根サラダ 40%													
ワースト 2	切干大根サラダ 30%	さんまの塩焼き 33%													
ワースト 3	筑前煮 28%	秋野菜の和え物 28%													
地元産使用	<ul style="list-style-type: none"> ● 米、米粉、みそ、つる紫、つぼみ菜、ゆずは 100% 使用しています。 ● ねぎ、キュウリ、ホウレンソウは、生産量に応じて使用しています。（平成 23 年度実績より） 	現状の維持とともに、使用量の増加を図ります。	地産地消専従者を配置し、3 町の地場産物の利用拡大を図るほか、新たなビジネスが地域に興ります。												
アレルギー対応	対応していない。	最大 30 食対応	最大 50 食対応												



給食を食缶へ配食
(柴田町給食センター)

問 Question 3

3 町共同の給食センターで考慮したことは何ですか？

答 Answer 3

次の 4 項目を特に考慮いたしました。

○配送時間への対応

柴田町と大河原町は、建設予定地が町外になるために、配送時間が懸念されますが、配送車を 3 t 車に変更して対応することにしました。

○県費栄養職員の減員

共同運営による 7,000 食の基準では、県から派遣される栄養士は 3 人となります。現行では 3 町に 6 人が派遣せられているため、3 人が減員となります。その対応として、各町から 1 人ずつ栄養士を派遣します。

○地場農産物の供給

給食センターに地産地消専従職員を配置して生産・流通・情報システムの構築と運用を担当しながら、常時栄養職員と連携を図れるようにしました。

○故障時の対応

調理ラインを小学校ラインと中学校ライン等の複数となる系統に構成しておけば、1 ラインがダウンしても残ったラインでの調理継続は可能と考えました。

町からのお願い

3 月号と今月号の 2 回にわたり、3 町共同学校給食センター建設可能性調査報告をいたしました。ぜひ、今月号に折り込みました「町長へのメッセージ (はがき)」で皆さんからのご意見・ご感想などをお寄せください。

問 柴田町まちづくり政策課

☎ 54-2111 ☎ 55-4172

4月1日から

柴田町住民投票条例が施行になりました

みんなの意思を

投票で確認!



柴田町住民投票条例制定までの経過概要

- 平成 22 年 4 月
住民自治によるまちづくり基本条例施行
- 平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月
まちづくり基本条例審議会において住民投票条例について審議。(6 回実施)
- 平成 24 年 5 月
まちづくり基本条例審議会から町長へ骨子を答申。
- 平成 24 年 8 月～12 月
議員全員協議会において住民投票条例について協議 (5 回実施)
- 平成 24 年 10 月～11 月
住民投票条例案についてパブリックコメントの実施
・意見提出者数 6 人 ・意見等の件数 24 件
- 平成 24 年 9 月～平成 25 年 2 月
まちづくり基本条例審議会において、議員全員協議会での意見、パブリックコメントに対する考え方等について審議。
- 平成 25 年 2 月 18 日
平成 25 年柴田町議会第 1 回定例会に上程 (平成 25 年 2 月 21 日賛成総員で可決)

住民投票制度とは

柴田町住民投票条例は、町の将来にかかわる重要な事項について、20 歳以上の住民の皆さんの意思を投票という形で確認し、その結果をまちづくりに反映させる制度です。

投票の対象にならないもの

①町の権限に属しないもの
②法律などで住民投票ができるもの
③町の組織・人事・財務に関するもの
この 3 つのほか、明らかに住民投票に相応しくない事案は対象にはなりません。

投票できる人

投票できる人は、次のいずれかの方です。
① 20 歳以上の住民の方で、柴田町の選挙人名簿に登録されている方。
② 20 歳以上の永住外国人および特別永住外国人で、柴田町に引き続き 3 カ月以上住所を登録し、投票資格者名簿へ登録をした方。

資格者名簿への登録

毎年 3 月、6 月、9 月、12 月に投票資格者を名簿に登録します。

○日本国籍の方：選挙と同じく町で登録を行います。
○永住・特別永住外国人の方：本人の意思やプライバシーを尊重し、本人の申請で登録を行います。

住民投票の請求・提案

住民投票は、次の 3 つの方法により請求・提案することができます。

① 住民からの請求
投票資格者総数の 50 分の

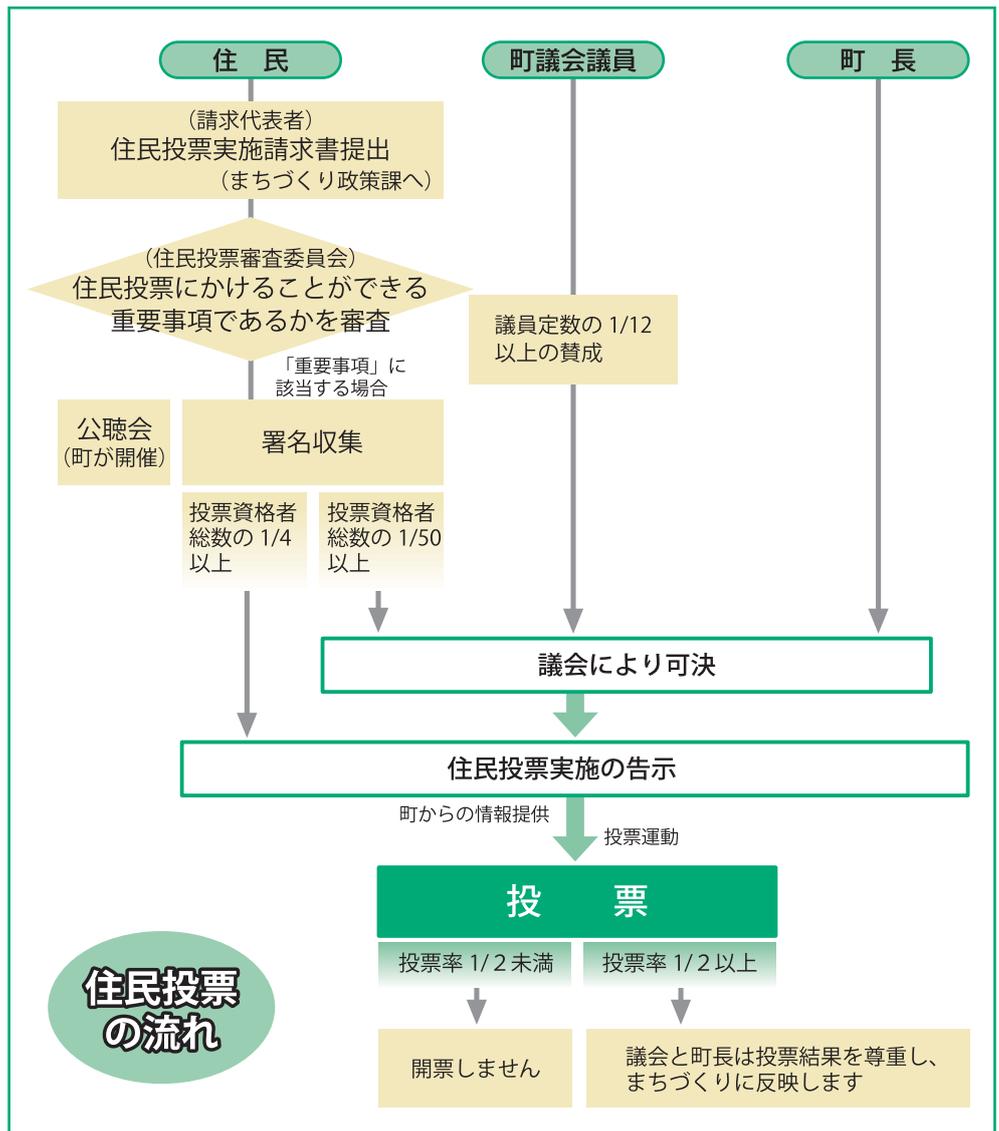
外国人住民の方の登録手続き

外国住民の方が住民投票の投票権を得るため、投票資格者名簿への登録を希望される場合は、あらかじめ登録の申請が必要となります。

申請後、必要事項を確認し、投票資格者名簿に登録します。また、登録したことを申請者に通知します。

今後、新たな登録を希望するときや登録内容の変更、登録の抹消をしたいときも、随時、申請書や届出書の提出が必要となります。

一度登録された方は、今後、町外への転出や登録抹消などにより投票資格者の要件を失うことがない限り、再度の登録申請を行う必要がありません。



住民投票の流れ

開票の要件

住民投票の投票率が2分の1に満たない場合には、開票を行いません。

結果の尊重

結果には、法的な拘束力はありませんが、議会や町長は、その結果を尊重して、まちづくりに反映させます。

再請求の制限

一度実施した事項についての住民投票は、2年間実施することができません。

住民投票の実施

- ① 議会でも可決された場合
 - ② 4分の1以上の連署により請求があった場合
 - ③ 町長からの提案
自ら実施を提案することができます。
- 1以上の連署または4分の1以上の連署により実施を請求することができます。
② 議員からの提案
議員定数の12分の1以上の賛成により実施を提案することができます。

投票の方法

住民投票は、選挙管理委員会の指定する投票所において、一人1票、二者択一の形式で投票します。

情報の提供

誤った情報で意思決定が左右されることのないよう、町は、投票に必要な情報を広報紙や町ホームページなどで提供するほか、住民投票の前に公聴会を開きます。

住民投票制度は、住民の意思を直接確認する、住民参加の一つの仕組みです。

町では、今まで以上に皆さんと情報の共有を図り、町長へのメッセージやパブリックコメントなどで寄せられた意見を政策に反映させていくなど、より一層、住民参加によるまちづくりを促進していきます。

まちづくり政策課

☎54-2111



栄誉をたたえて

柴田町スポーツ賞

個人 36 人・10 団体
総数 150 人を顕彰

平成 24 年 1 月から 12 月までに、スポーツで顕著な成績を取めた方を顕彰する「第 24 回柴田町スポーツ賞表彰式」が 2 月 22 日、槻木生涯学習センターを会場に行われました。

式典では、町長から個人や団体に賞状や楯などが贈られました。顕彰者を代表して柴田昌利さんが「今日の感謝を忘れることなく精進していきたい」と謝辞を述べました。

顕彰を受けられた方は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

柴田町スポーツ賞 顕彰者

栄 誉 賞

〔個人〕

○ボブスレー

黒岩 俊喜(仙台大)▽ボブスレーノースアメリカンカップ第 1 戦パークシテイ 4 人乗り 3 位、第 2 戦パークシテイ 2 人乗り 6 位、同 4 人乗り 4 位、第 3 戦カルガリー 4 人乗り 3 位、第 4 戦カルガリー 2 人乗り 5 位、同 4 人乗り 4 位、第 5 戦カルガリー 4 人乗り 5 位、第 6 戦カルガリー 2 人乗り 5 位、同 4 人乗り 6 位

近藤 康行(仙台大)▽ボブスレーノースアメリカンカップ第 7 戦カルガリー 4 人乗り 6 位

○スケルトン

渡辺 瑞基(仙台大)▽スケルトン世界ジュニア選手権 6 位▽スケルトンノースアメリカンカップ第 1 戦パークシテイ 6 位、第 2 戦パークシテイ 8 位、第 3 戦カルガリー

功 績 賞

〔個人〕

○空手道

菅野 信昭(秀練会船岡道場)

▽東北硬式空手道選手権大会一般男子有段軽量級優勝▽硬式空手道全国選抜優勝大会有段団体戦優勝

佐藤 太一(秀練会拳聖空手船泊)▽東日本オープン硬式空手道選手権大会一般男子合同の部優勝▽全日本剛柔流空手道選手権大会男子一般有段重量の部優勝

柴田 昌利(秀練会船岡道場・白石工業高)▽東日本オープン硬式空手道選手権大会中学生男子中量級の部優勝▽東北硬式空手道選手権大会男子高校重量級の部優勝▽全日本剛柔流空手道選手権大会男子高校 1 年の部優勝

○漕艇

池内 風(仙台大)▽U-23 世界選手権大会軽量級男子舵手なしフオア 12 位

福田 海人(仙台大)▽U-23 世界選手権大会軽量級男子

12 位、第 4 戦カルガリー 11 位

○体操

小原 孝之(仙台大)▽アジア体操競技選手権大会団体 2 位、男子種目別鉄棒 3 位

古谷 嘉章(仙台大)▽アジア体操競技選手権大会団体 2 位、男子種目別あん馬 2 位、同鉄棒 3 位

○スケルトン

菊地 貴志(仙台大)▽スケルトン世界ジュニア選手権 2 位▽スケルトンノースアメリカンカップ第 1 戦パークシテイ 14 位、第 2 戦パークシテイ 15 位、第 3 戦カルガリー 17 位、第 4 戦カルガリー 15 位

米倉 理絵(仙台大)▽スケルトン世界ジュニア選手権 20 位▽スケルトンノースアメリカンカップ第 1 戦パークシテイ 11 位、第 2 戦パークシテイ 10 位、第 3 戦カルガリー 12 位、第 4 戦カルガリー 13 位

小林 真衣(仙台大)▽スケルトンノースアメリカンカップ第 1 戦パークシテイ 14 位、第 2 戦パークシテイ 13 位、第 3 戦カルガリー 17 位、第 4 戦カルガリー 15 位

明石 七海(仙台大)▽スケ

ルトンノースアメリカンカップ第1戦パークシテイ16位、第2戦パークシテイ15位、第3戦カルガリー20位、第4戦カルガリー18位

○ウエイトリフティング・スケルトン

野倉 大貴(柴田高)▽東北高等学校選手権大会ウエイトリフティング競技学校対抗の部1位▽県ウエイトリフティング競技選手権大会高校男子56kg級トータル1位▽インスケルトン男子1人乗りピックスケルトン男子1人乗り10位

安藤 早紀(柴田高)▽全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会53kg級トータル6位▽全国都道府県対抗女子ウエイトリフティング選手権大会48kg級トータル3位▽全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会

高校の部48kg級2位▽インスケルトン女子1人乗り14位

佐藤 弾(柴田高)▽インスケルトン男子1人乗り9位

○ウエイトリフティング

小野 さえり(柴田高)▽全

国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会69kg級トータル1位▽全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会高校の部63kg級1位

○学童女子軟式野球

舟山 雅妃(船迫小)▽学童女子軟式野球全国大会 優勝

【団体】

○ラグビーフットボール

船岡自衛隊ラグビー部(武藤 智宏、竹森 博哉、目黒 丈博、安藤 貴樹、千坂 潤、鈴木 雅之、平間 俊、長谷部 孝志、吉田 一也、工藤 大輝、工藤 大二、相坂 侑也、高野 駿介、堀籠 道也、佐々木 翔多、成毛 博、永沢 優和、村上 将希、津留崎 幸彦、澤石 務、八木 橋 想、飯塚 健男、工藤 智長、藤田 祐己、渡部 晋 太朗)

○漕艇

仙台大学漕艇部(赤池 恵介、赤間 拓也、阿部 大貴、池内 風、今井 寿亮、畠山 惇史、福田 海人、今野 栄也人、外崎 海舟、東久保 大悟、吉田 樹、武田 圭司、阿部 聖、松岡 真、林 緩

哉、納城 紘一、宮本 明子、大角 真央、小口 桜子、前田 佑美、中川 ひかり、山崎 可奈子)

○空手道

柴田町空手道連盟秀練会船岡道場(嶋本 唯奈、長谷川 大輔、加藤 萌生、清水 愛斗、高橋 壹行、嶋本 若葉、加藤 瑠萌)

柴田町空手道連盟秀練会拳聖空手船迫(大槻 星太、桑谷 颯太、大槻 唯斗、小荒井 海歩、郡谷 綾、須田 祐斗、内田 晶)

【個人】

○空手道

堀内 孝一(柴田和道会)

柴田 祐寿(秀練会船岡道場・古川工業(株))

奨励賞

菊池 収祐(仙台大)

○陸上

佐藤 若菜(船岡支援学校講師)

○ラグビーフットボール

鈴木 理史(仙台大専)

○フライングディスク

那須野 純也(船岡支援学校高等部)

○ウエイトリフティング

伊藤 立瑠(柴田高)

小島 裕太(柴田高)

○水泳

山上 絢子(白石高)

青塚 美濤(槻木小)

青塚 和樹(槻木中)

○バドミントン

櫻井 紀香(槻木小)

○新体操

小倉 萌(槻木小)

○ウエイトリフティング

柴田高校ウエイトリフティング部(野倉 大貴、小丸 雄大、山家 雄太郎、佐藤 弾、大友 真樹、勅使瓦 輝、小島 裕太、伊藤 立瑠、片岡 翼、森 太一、森 加奈子、安藤 早紀、小野 さえり、小野田 茜)

○新体操

○ウエイトリフティング

仙台大学新体操競技部(塚田 早紀、渡邊 真純、稲垣 文季、相馬 京香、鈴木 のぞみ)

○体操

仙台大学体操競技部(古谷 嘉章、尾崎 亮介、吉本 明、小原 孝之、杉本 健太郎、仁科 浩平)

○空手道

柴田町空手道連盟柴田和道会(三浦 一葉、浅野 拓斗)

柴田町空手道連盟秀練会槻木道場(岩井 雄寛、鈴木 誠太、高橋麻、平間琉幌)

特別賞

○学童軟式野球

船迫小フェザンズスポーツ少年団(我妻 空、佐藤 飛鳥、大沼 昌平、山本 光輝、後藤 大輝、佐藤 拓也、半澤 旦陽、津田 直也、土井 佑輔、佐藤 磨知、佐藤 海斗、菅野 涼、田中 翔真、土井 伸弥、舟山 昂我、相澤 真梨恵、田中 大翔、佐藤 賢吾、大沼 悠翔、沼田 佑翔、舟山 雅妃、高橋 大我)

まちかど NEWS



「ありがとうございました」と修了証書を受け取る卒園児



受け取った修了証書をお母さんに手渡す園児

思い出と共に巣立ちの時を迎える

3月14日と15日、暖かな日差しのもと、町内の幼稚園で卒園式が行われました。

このうち、第一幼稚園では、15日に園児30人が卒園の日を迎えました。卒園児は、先生から名前を呼び上げられると、元気に返事をして、園長先生から修了証書を受け取りました。年中児さんは、卒園児に「小学校に行っても、かっこいいお兄さんお姉さんでいてください」とお別れのことばを送りました。

火災が起きない生活環境に

NEWS

春の火災予防運動に併せて3月6日、一人暮らしをする高齢者を対象に住宅防火診断が行われました。柴田消防署と民生委員が29D区、30区の10世帯を訪問。火元になりやすい台所や暖房機などを点検したほか、防火設備の状況を調べ、対策についてアドバイスをしました。今回は、消火器の老朽化や火災報知機が未設置の世帯がありました。日頃から防災対策をしている世帯が多かったようです。



消火器の安全な使用方法を説明

広 告

広 告

彩り豊かな柴田の花見弁当



お披露目会には、春らしい花見弁当が勢ぞろいしました

さくらまつりの開催を前に、3月8日に柴田町商工会で「花見弁当お披露目会」がありました。商工会サービズ業部会の主催によるもので、町内の飲食店などから花見弁当7品が出品されました。さくらまつりに訪れた方に、「柴田の食」を堪能していただくよう地場産品を取り入れて作られています。味はもちろん彩り豊かに仕上がった花見弁当は、さくらまつりの期間限定で販売されます。

希望の椅子で結ばれた絆



プロジェクト代表の磯田さん(右)から本が手渡されました
※君はどんどん大きくなって僕はだんだん小さくなって「あの日」生まれた君たちへ(非売品)

平成23年12月、「君の椅子」プロジェクト(北海道旭川大から、東日本大震災当日に生まれた笠松佑馬さん(船岡)などに世界に一つだけの木製の椅子が贈られました。その後、椅子を譲り受けた子の親から同プロジェクトに寄せた手記をもとにした本※が3月6日、母親の加奈子さんに届けられました。加奈子さんは手記に「生まれた日の出来事を見つめ、感謝の気持ちをお忘れずに強く生きてほしい」とつづっています。

地元木材を子どもたちのために



伐採される樅の木の巨木

沿岸部の復旧工事のため、土を採取している小成田地区の山には、大きな樅の木が立っていました。建設予定の(仮称)船迫こどもセンターのために、この樅の木を株式会社サカモト(船岡中央1丁目)が町へ寄附しようとして、3月4日に伐採作業を行いました。伐採した木は、樹齢140年(推定)で幹の太さは160cm、高さ24mある巨木で、製材された後、子どもたちが使うテーブルや椅子、棚などに加工される予定です。

広 告



柴田町長 滝口 茂

仙台・宮城デステイネーションキャンペーンがスタートしました。「笑顔咲くたび 伊達な旅」をテーマに、全国展開

三つ目は、全職員で観光案内や駐車場の誘導、観光客の入込調査を行うことにしました。縦割り行政を越え、職員が一丸となって観光まちづくりに取り組むためです。とかく、観光というと「遊び」と捉え、「観光に投資するお金があるなら福祉に使え」という人がいますが、それは観光が及ぼす地域への経済効果や町の評価を高める観光力を、良く理解されていないからではないでしょうか。なぜ、多くの観光地の中で京都が「元気で、行きたいまち」として人気が高いのか。それは、京都市民みんなで、京家といわれる伝統的な街並みや四季折々の歴史絵巻、食文化を守り育て、魅力ある京都にしようと常々チャレンジしているからです。そうした観光まちづくりを意識した日々の生活が、観光客を魅了するのだと思います。

仙台・宮城デステイネーションキャンペーン

新たな取り組みとして、一つ目は、びゅうバスや仙台バスなど、観光バスへの対応です。職員がバスツアーに同行して、「花のまち柴田」の魅力のアピールします。二つ目は、おもてなし店の開設です。船岡駅から船岡城址公園までのお店に協力をいただき、パンフレットの配布やトイレの提供を行います。お店の方々と観光客との交流が深まればと期待しています。

「花のまち柴田」をテーマに、人々を迎え入れるのにふさわしい街並みやおもてなしの心をみんなで創り育てていきたいと思っています。



はなみちゃんからの フラワーレター

春ご~あ！ 柴田町が一年で最も華やかになる季節がやってきたよ。

桜はもちろん、船岡城址公園や白石川堤ではレンギョウが見頃になるんだよね。館山山頂の「コミュニティガーデン花の丘柴田」では、チューリップなど春の花がたくさん咲くよ。船岡城址公園内には2,000株もあるムラサキハナナが、やさしい紫色の花を咲かせるんだ。

コミュニティガーデン 花の丘柴田

ムラサキハナナ



スイセンも見ごたえ抜群！

約2kmにわたり沿道を彩る「すいせんロード」(槻木農免農道・入間田地区)や白石川河川敷(北船岡)、太陽の村でもスイセンが楽しめるよ。たくさんのスイセンを育ててくれた町のみなさん、ありがとう♡



ガーデニングを楽しんで！

4月の庭仕事

- 春まき一年草の種まきをします。桜の咲く頃が最適で、ヒマワリなど寒さに弱いものは、八重桜の咲くころにまきましょう。
- 秋に咲く宿根草は今月上旬に株分けをしましょう。
- 購入した鉢花は、一回り大きな鉢に植え替えましょう。水の管理が楽になり、花を長く楽しめるよ。2週間に一度くらい液体肥料を与えてね。



問 まちづくり政策課 ☎54-2111



すばらしい仲間たち

ジュニア・リーダーは、町内在住の中学生・高校生が参加するボランティアです。子どもたちとゲームやレクリエーションをして一緒に遊ぶことで、子ども会活動や教育委員会などの行事でお手伝いをしています。

活動の良さは、レクリエーションやリーダーとしての技術習得だけではなく、研修や活動をとおして学校や学年にとらわれない、新たな仲間との出会いや交流ができることです。このほか、子ども会育成会や関係機関の大人など、さまざまな世代や立場の人たちとの接点生まれ、人との関わり方を学ぶことができます。

柴田町ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」には、平成25年3月末日現在、ジュニア・リーダーとして30人が登録して元気に活動をしています。

「かぐや姫」です！

こんにちは、柴田町ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」です。

「かぐや姫」は、昨年、結成40周年を迎えました。先輩たちがともしたボランティアの心の明かりを、40年間絶やさずに伝えてこられたことはとても誇らしいことだと思います。

子どもたちが笑顔を見せてくれるたび、この活動に心からやりがいを感じます。「ジュニア・リーダー活動って本当すばらしい。大好き。やりがいがあって、かわいい子どもたちとたくさん触れ合えて、人の温かさにたくさん気付ける」

これからも、子どもたちの心に多くのものを残せ

柴田町ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」

受け継がれてきたボランティアの「心」



ジュニア・リーダー初級研修会／ジュニア・リーダーの基本を学び、早速自然体験キャンプの子どもたちと一緒に活動します。



姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会／柴田町、伊達市、新地町、亘理町、山元町のジュニア・リーダーの交流会です。



2月に行われたぶんぶん節分／自主企画で、子どもたちにゲームやのり巻作りなど楽しい時間をプレゼントしました。

る活動。これまで以上にたくさんしていきたいです！ 40周年？ まだまだこれから(^3^)- ☆！

(田山愛里沙 キャンプネーム・アサリ)

会員募集！

皆さん、「ジュニア・リーダー」って知ってる？ 子どもたちとふれあったり、町の行事のボランティア活動をしているよ！ 少しでも興味を持った人や新しいことを始めたいと思っている人、部活をやっている人でも大丈夫!! 一緒に楽しくボランティア活動しましょう！

(北上稜 キャンプネーム・こんなにメロン)

☎ 生涯学習課 ☎ 55-2135

広 告

広 告

俳句

パウロ来て花見の闇に消へにけり 小野 憲彦
 奥山に白の権化の辛夷かな 江戸 裕子
 大南風暮しのうらを見せて住む 上遠野三恵
 骨太の握手の別れ山笑ふ 鎌形 清司
 お手玉のほつれ菜の花蝶と化す 鈴木 清子
 触診の指が捉へし春の雷 鈴木 清子
 石罅玉行く先を秘しツアーかな 鈴木 三山
 過ぎたるはみな眩しくて桜散る 鈴木 幸子
 相馬カツオ

ゆるやかに花の列車は柴田町 松崎 利保
 ウエディングドレスの見ゆる菜種梅雨 石母田星人
 一天を占めて蔵王あり朝桜 槻木 永井 堯
 春一番花粉症からお付合 大槻 信吉
 船岡の土手の桜は日本一 槻木 加藤 利通
 無口ほどつたへられないもどかしさ 槻木 加藤 マサ
 大ダムに入るたかぶり雪解川 下名生 笠松フミコ

川柳

医者通い忍びの一字を実感し 四日市場 曳地 真翔
 子や孫も票につながらるご愛嬌 四日市場 郷土 山櫻
 定年後あれもこれもと妻仕切る 西船迫 大沼 一路
 早起きも余寒に三文損をする 船岡 阿部トクエ
 うごめいて満座を湧かす老いの唄 船岡 幕田 昇
 老人ホーム終の住処と決めて行く 船岡 佐藤 春市
 口喧嘩孫に仕切られ笑み戻る 船岡 早坂 洋子

お互いがヘルパーとなるお年寄り 船岡 長尾 純子
 復興に命の大切早二年 船岡 伊藤タイ子
 カボチャ煮る体にいよいよ鍋の声 船岡 安藤 節子
 工場跡地ダンプ出入り活気づく 船岡 阿部美代子
 忘れないすべてを飲み込み大津波 西船迫 渡辺 晴奈
 ねじり虫植の下でかくれんぼ 葉坂 青柳 陽子

短歌

当世の尻ふかぬ人これあれば 犬の尻ふくを路上で見たり 葦神 葛
 霜柱崩れるやうに水仙の芽の 尖りゆく春のほころび 船岡 つかのめ けいこ
 ひと目ひと目友編んでくれしマフラーは 春浅き街に温かく優し 船岡 沢田 順子
 静かなる川面にたつぷり光満つ 天の青さと春色映し 槻木 大泉かずえ
 満開にピカピカ孫の晴れ姿 桜咲き孫は未来に発進す 本船迫 森田 眞六
 春日和り蔵王連嶺雪景色 光り輝き仰々しく見ゆ 船岡 曾根れい子

広 告

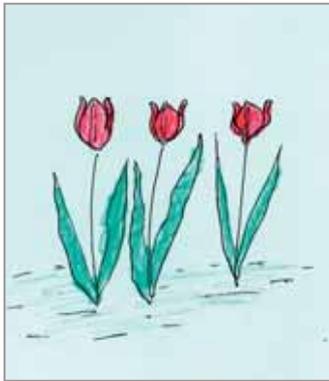
広 告

広 告

広 告



夢空間 2013



はなちゃん (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile
kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「カタツムリとなかよし」

西住小学校2年

くわはら みさき
桑原美咲さん

「よろよろぐらぐら」

西住小学校2年

わがつま あき
我妻愛輝さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2013)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで4月15日(月)まで応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

槻木ッ子新聞

槻木小学校
6学年編集



槻木小のシンボル メタセコイア

槻木小学校の玄 たいて、天を目指 会で全校児童の前 関のわきに、堂々 して真ッすぐに伸 で歌いました。ま とそびえ立 っているその姿は、希 た、十二月には、メ する巨木が、校木の 望と忍耐の象徴に タセコイアの奇跡 メタセコイアです。 なっており、私 た 点打式」に招かれ 中国の四川省を ちも、メタセコイ て、槻木駅前でも 原産地とするこの アのように真ッす 元気に歌ってきま 樹木は、昭和五十 ぐ、すくすくと成 した。【写真左】 二年二月一日に、 長していきたくいと メタセコイアは 旧校地より現在の 思っています。 槻木小学校全児童 地に移植されまし ます。メタセコイアは の誇りです。

高さが二十三メ ートル、幹の太さ ている「つきのき は二、五メートル の詩」という合唱 もあります。 組曲の一曲目がそ 夏の暑さにも冬 れです。 今年も音楽発表 の寒さにもじっと



吹奏楽部の活やく！



槻木小学校 には仙南の小 学校ではただ 一枚、吹奏楽 部があります。 【写真右】 四年生から 六年生の希望 者が活動して います。 吹奏楽部の部長 さんは「多くの 人に支えられながら 活動できることに 感謝しながら、こ れからも地域の 人たちに希望と勇気 を与えられる吹奏 楽部にしていきたく います。」と私たち に答えてくれました。

槻木小学校では、 今年度のコンサー トでは、岩沼市民 会館近くの仮設住 宅の方々もご招待 し、歌手のさとう 宗幸さんとも共演 しました。 学校行事での演 奏の他、各種イベ ントにも招待され て演奏活動をして います。 また、四年生は 「マンツーマンで 教えています。 三月の「六年生 ありがとう集会」 で引き継ぎが完了 します。 また、四年生は 三年生に「槻小ソ ーラン」を教えま す。教えてもらっ た「槻小ソーラン」 は、運動会で、三 色のは、びをまと った新四年生が一 生けん命おどりま す。ここにも伝統 を受け継ぐ様子が 見られます。 さらに二年生は、 自分たちで作った おもちで一年生 を遊ばせるという 「おもちゃフェス タ」を開いています。 みんなとても 楽しそうに遊んで います。【写真左】



伝統を受けつづけるというテーマのイラスト



今年度のコンサー トでは、岩沼市民 会館近くの仮設住 宅の方々もご招待 し、歌手のさとう 宗幸さんとも共演 しました。 学校行事での演 奏の他、各種イベ ントにも招待され て演奏活動をして います。 また、四年生は 「マンツーマンで 教えています。 三月の「六年生 ありがとう集会」 で引き継ぎが完了 します。 また、四年生は 三年生に「槻小ソ ーラン」を教えま す。教えてもらっ た「槻小ソーラン」 は、運動会で、三 色のは、びをまと った新四年生が一 生けん命おどりま す。ここにも伝統 を受け継ぐ様子が 見られます。 さらに二年生は、 自分たちで作った おもちで一年生 を遊ばせるという 「おもちゃフェス タ」を開いています。 みんなとても 楽しそうに遊んで います。【写真左】

◎このコーナーは、平成24年2月9日に行われた子ども議会における一般質問で「学校から元気を発信したい」という提案を基に、10月号から2カ月に1回掲載しています。

人口と世帯数
(平成25年3月1日現在)

38,722人
(前月比32人減)

19,211人
(前月比7人減)

19,511人
(前月比25人減)

14,924世帯
(前月比29世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。